

## ◇ゆうゆう荻窪東館だより◇

### ■巻頭言

『私の自粛生活』

「触れ合い交流」、「口角泡を飛ばす議論」などの表現は、現実離れた言葉になりつつあります。3月にゆうゆう館が休館となり、個人的なものを含め、様々な活動がストップしました。荻窪、西荻窪、小平と3カ所で開催していた「仏像サロン(学習講座)」はすべて休止。毎月開催した参詣寺院での仏像拝観や、美術館・博物館での観覧も全くなりませんでした。3月楽しみにしていた東京国立博物館での「法隆寺展」は開催直後に中止となりました。出歩くことが日常であった生活から、一転して、巣ごもりのような生活となりました。外出と言えば、食料品買い出しでの荷物持ちと近場の散歩だけ。あとは、「倉庫と化した部屋の片づけ」「溜め込んだ資料の整理」「積まれた本の読書」「録画したDVDの視聴」と来し方を振り返り、自分を見つめるいい機会となりました。自粛生活の中で発信を続けたのが、ブログ(「仏像愛好倶楽部」)の更新。「法隆寺の国宝仏」「観音菩薩の魅力と特徴」をシリーズでアップしました。講座参加者から「楽しんで読んでいます」とのメールを頂くと、心底嬉しくなります。孤立した中でもどこかで繋がることの有難みを感じました。ウイズコロナ、アフターコロナに向け、新しい生活を模索中です。



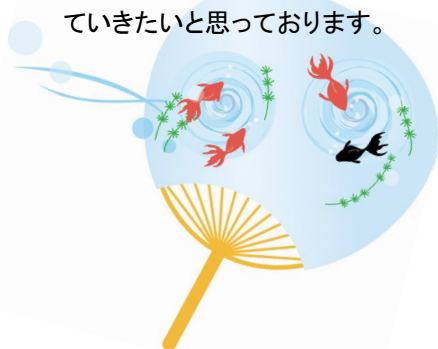
(理事長 木村 健)



### ■事務局通信

- ◇ 3月3日から6月7日まで新型コロナウイルス感染症予防の為、臨時休館をしていました。6月8日より利用制限を行いながらの再開となりました。ご利用の皆様には大変ご不便をおかけいたしましたがお変わりなくお過ごしでしょうか。久しぶりに皆様にお会いできると職員一同お待ちしておりますが、6月のサロンは休講、一般高齢者団体も活動を自粛されるグループが多く館内は閑散としていました。7月からも制限はございますが、ほぼ通常にもどってきております。協働事業も14のサロンが再開されました。
- ◇ 休館中の館内の変化としては、トイレの洗面蛇口が自動センサー式になり使い勝手がよくなりました。事務局では、職員の異動があり、新たな人材が勤務となりました。
- ◇ 館内感染症予防の取り組みとしては、毎朝、職員が各部屋の換気、机、椅子、手すり、ドアノブ等を消毒液で拭きあげています。入館に際しましては、マスク着用、手指の消毒、検温をお願いしております。各部屋にご利用上の注意、ご協力頂きたい事項の掲示がございますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。常に無菌状態を保つのは難しいので、手洗い、手指消毒を重ねてお願いいたします。ウイルスとの闘いは長くなりそうですが、安心して生き生きと楽しく活動が続けられますようご意見ご要望を頂いて、より良い環境作りを共に考えていきたいと思っております。

(事務局長 小高 久美子)



### ■事務局 新職員自己紹介

今年度4月から事務局の新職員になりました松元と申します。新型コロナ禍の入職となり、ご挨拶が遅れました事をお詫び申し上げます。RISAの文化的な交流という貴重な「場」のお役に立てるよう、非力ながら励んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(松元 敦)